

平成 3 0 年度使用

小学校教科用図書選定委員会【第 2 回】 会議録

平成 2 9 年 7 月 1 0 日（月）

時間：午後 3 時 3 0 分 ～ 4 時 2 0 分

於：千代田区役所 4 階 教育委員会室

議事日程

第 1 あいさつ 千代田区教育委員会教育長 島崎 友四郎

第 2 議事

調査研究（各種目）

①調査委員会報告（調査副委員長）

②調査研究

③協議

第 3 事務連絡

（１）今後の予定等（調査資料様式３及び答申書の作成、答申について）

（２）教科書採択の公正確保等について

◎日程第1 あいさつ

統括指導主事

それでは、定刻より1分ほど早いのですが、皆様おそろいですので、始めさせていただきますと思います。

会に先立ちまして、委員の皆様にご了解をいただきたいことがございます。事務局内のみ使用の記録として、本会議の様子を写真撮影させていただきたく存じます。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

また、本日配付の資料は、本会終了時に回収させていただきますことをあらかじめご了承ください。

また、本日はご多用の中ご出席いただきまして、大変にありがとうございます。

本日、委員の皆様には全員ご出席いただいております。本会成立の規定数、過半数の出席を既にいただいておりますので、ただいまより第2回平成30年度使用小学校教科用図書選定委員会を開催いたします。

まず、千代田区教育委員会教育長よりご挨拶を申し上げるところですが、公務のため、指導課長よりご挨拶申し上げます。

指導課長

皆さん、こんにちは。平成30年度使用小学校教科用図書第2回の選定委員会の開催に当たり、教育委員会を代表しまして一言ご挨拶申し上げます。

先ほどアナウンスがありましたように、本来でしたら教育長がご挨拶を申し上げるところですが、公務のために、教育長にかわりまして一言私からご挨拶を申し上げます。

本日はお暑い中をお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

また、学識経験者の先生方、学校管理職の先生方、そして保護者の皆様におかれましては、4月から非常にお忙しい日々が続いたかと思います。学校はあと数日で長期の休業でございます。この間、大きな事故、問題なく夏休みに入れそうなことは、教育関係者や地域、保護者の皆様がそれぞれに丁寧な対応とご協力をいただき、充実した教育活動が展開できたからだと思っております。この場をおかりしまして、心より感謝申し上げます。

また、選定委員会に先立って行われました調査委員会では、1学期の成績処理や夏休みの岩井臨海学校準備等々、非常にお忙しい時期に丁寧に教科書に目を通していただき、しっかりと研究調査をしていただきましたことに改めて御礼申し上げます。

今回、初めての道徳の教科書を採択するということで、社会的にも関心が高く、ことしも多くの区民をはじめ一般の方々が教科書展示会に訪れていらっしゃいます。

この選定委員会ですが、調査委員会の研究調査結果を踏まえまして、

統括指導主事

長谷委員

この教科書採択の中では特に重要であります専門的な調査研究、適正かつ公正な選択の確保、そして、開かれた採択の推進を視点に本日の調査研究を進めていただければと思います。

教科書展示の中でお寄せいただきましたアンケートや調査研究のご報告を資料3、4としてお示しさせていただきました。本日の選定委員の皆様からのご報告もあわせて、総合的に判断してご推薦をいただければと思っております。

本日はよろしくお願いいたします。

ここで、前回ご欠席されました委員の方をご紹介させていただきます。長谷先生、簡単で結構ですので、自己紹介をお願いいたします。

長谷と申します。千代田区の子ども教育のコーディネーターとして、区立学校の先生方と一緒に道徳を勉強しております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎日程第2 議事

調査研究（各種目）

①調査委員会報告（調査副委員長）

②調査研究

③協議

統括指導主事

それでは、本日の進行についてご説明いたします。本日は議事として、要綱及び細目に従い調査研究を進めていただきます。確認のため、細目の該当箇所をここで読み上げさせていただきます。細目については先日配付させていただいておりますので、本日は配付してございません。

選定委員会は、教科用図書調査委員会から報告された調査研究資料を、5に定める調査研究の観点に照らし検討し、調査内容に意見を付した答申書を作成し、教育委員会に答申する。

以上でございます。

そこで、本日は、調査委員から報告されます調査研究資料をもとに、調査協議を行っていただき、教育委員会に答申する答申文の案を作成することが本日の選定委員会の趣旨になります。

それでは、具体的な進め方についてお話をいたします。議事、調査研究審議については、具体的には次第の議事にありますように、まず、資料の中、資料4がございします。調査副委員長から後ほどご報告をいただきます。評価の低いものについては、特にご報告の中で触れる必要はありませんが、必要であれば適宜説明あるいはご質問ください。

次に、調査研究として用意してあります教科書見本を委員の方々にご確認、調査等をしていただきます。特に調査副委員長から報告のありま

した特色等をご確認いただければと思います。

以上を踏まえ、質疑及び協議をし、2社から3社の推薦をお願いいたします。

また、質疑については議事録を起しますが、後ほど事務局にて整理をさせていただきますので、どうぞ忌憚のないご質問、ご意見をお願いいたします。

先ほど指導課長より挨拶にございましたが、本日資料を加えさせていただきましたが、教科用図書見本、図書館の参観者数が27年度よりも非常に多くなっております。27年度は中学の採択で複数教科ある中でしたが、今回、道徳1教科でも参加人数がふえておりますので、その点もご確認いただければと思います。

それでは、ここからの進行は選定委員長をお願いいたします。

勝又委員長

それでは、皆さん、こんにちは。お疲れさまです。

それでは、本日の議事、道徳の調査研究に入ります。

まず、調査副委員長から調査委員会における調査研究の報告をしていただきます。お願いします。

齊藤副委員長

失礼いたします。副委員長、齊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、資料4、様式3（案）をごらんください。

様式3に示されております1から6までの観点で調査をいたしました。発行は8社ありますが、推薦順に3社の報告をさせていただきます。

まず、光文書院です。

1の内容の選択としては、長年親しんでいる資料を多く採用しており、例えば1年生ですと「かぼちゃのつる」、2年生「しあわせの王子」、3年生「ないた赤おに」等、副読本に長年採用しているものが掲載されております。教員が資料の中心発問が捉えやすいことが第一に挙げられます。

2の構成・分量としましては、各学年とも全体的に適量です。全学年巻末に「学びの足あと」、一番最後にこのような「学びの足あと」がついています。1時間目から35時間目まで、それぞれ短く一言ですけれども、書きためていく様式になっています。継続的に記録させることにより、自己の気づきの振り返りを蓄積することができるのはよいです。ただし、別途作成するノートやワークシートと内容が重なってしまい、二度手間になってしまうのではないかと懸念も調査委員の中にはありました。

また、どの学年も必ず冒頭、この初めのところに目当てが書いてありまして、そして、最後に学習内容、活動、振り返り等のものが書いてあります。若い教員でも授業の流れがつかみやすいです。

3の表記・表現としては、挿絵が鮮やかで視覚に入り込みやすく、児

童の思考の補助になります。また、教材の下にはこのような吹き出しがありまして、教材文を考えるためのポイントが書いてあります。児童の思考を助ける手だてにもなります。ただし、それに影響を受け過ぎないように教員が注意する必要があります。

4の使用上の便宜としましては、A4に近いサイズで、8社のうち一番大きい部類に入ります。大きいので、本文と挿絵が大きくゆったりとした配置になって見やすい反面、机の上にワークシートやノートを広げると、若干机上が狭まることも考えられます。

5の地域性の配慮としましては、日本で初めて取り組んだ千代田区ポイ捨て禁止条例をもとにした資料、「マナーからルールへ、そしてマナーへ」、これですね。こちらのほうを掲載されています。千代田区民の住民の願いから問題を解決していったことが決まりの意義として取り上げられています。千代田区の取り組みを扱った資料で決まりの意味を児童に考えさせることは意義があるところです。

6番のその他は特にございません。

続いて、東京書籍です。

1の内容の選択としましては、光文書院と同じく、長年親しんでいる資料が多く採用されています。例えば6年生の「田中正造」、同じく6年生の「手品師」、5年生の「流行おくれ」、3年生の「黄色いかさ」、2年生の「金のおの」、1年生の「二わのことり」等があります。同じく、教員が資料の中心発問を捉えやすいです。

また、全学年に情報モラルを扱った資料がありまして、いじめ防止に向けたこの東京書籍の編集者の強い配慮、現代的課題への配慮が見られます。

2の構成・分量としましては、挿絵、文字の大きさ、分量が適当で、児童が読みやすいです。

また、1・2年生は本文で終わっています。大体どの教科書も、先ほど言いましたように、一番後ろに学習活動が書いてあるんですけども、1・2年生、東京書籍は今までの副読本と同じような形で、後ろに書いてありません。このことは、教科書に余計な記述がないことで児童の思考が縛られないという長所がある一方、経験の浅い教員にとっては授業の流れがつかみにくいという懸念があります。また、このことは、教科書調査委員以下、研究員からも、副読本のときとあまり変わらない、教科書という感じがしないという報告からもわかります。

3の表記・表現としましては、特に挿絵の色合いとタッチがソフトで、目に優しいです。また、絵本等で活躍している有名な作者の挿絵も多く、挿絵をもとにイメージを膨らませながら児童が学習に取り組むことができます。

4の使用上の便宜としましては、B5よりも横に大きく、B5のものよりも文字や挿絵がゆったりと配置してあって見やすいです。ちょっと

変形版ですね。一番大きかったのは光文で、こんな感じですね。光村がB5という形で、こんな形になります。横に広い分、ゆったりとしてあって、とても見やすいです。また、A4のものよりも一回り小さいので、机の上で同時にノートを広げてもそんなに邪魔になりません。

5の地域性の配慮としましては、多摩川の外来種の問題を取り上げた「タマゾン川」、これは6年生です。あと、同じく6年生、戦争時の命を守るための努力を取り上げた東京大空襲があり、東京の地域の特性を生かした資料をもとに児童が学ぶことには意義があります。

6のその他は特にありません。

最後に光村図書です。

1の内容の選択としましては、決まり切った答えがなく、児童に考えさせることができる資料が多く採用されています。例えば6年生の「ここを走れば」、高速道路の渋滞のところでルールどおり守っているお父さん。ただ、その結果、おじいちゃまの死に目にお会いできなかったというところのですね。あと、同じく6年生の「手品師」、これも大変学校のほうでは毎年使っている教材です。あと、5年生の「お客様」、4年生の「ひとりぼっちのYちゃん」、これらは子どもがどのような答えをするかというのも大変悩むところでもありますし、心を揺さぶられる題材です。

また、いじめ防止については全学年でコラムとして、資料ではなく直接扱っており、いじめはいけないことであることを児童に直接働きかけています。

2の構成・分量としては、目次に学習時期が明記してあります。順番に取り組むようになっていて、担任が進行管理を明確にできるよさがある一方、学級や学校の実態に合わせて資料を選ぶことが学校ではありませんけれども、それが若干できにくくなっているという短所があります。

また、これは一番初めの光文でも同じでしたけれども、冒頭で本時どんな学習を行うのか、終わりに何を考えていくかが全ての資料に明記してあります。このことによって、経験の浅い教員でも授業の流れや的確な発問ができやすくなっています。

また、全体として読みやすい内容、適度な分量で、若手教員も大変扱いやすい分量となっております。

3の表記・表現としましては、表記が国語の教科書と類似しています。これはもう見て、本当に国語の教科書かなと思うような形ですけれども。とても落ちついた感じではあるんですけども、経験の浅い教員などが心情を追いかけてしまうなど、勘違いをしてしまう懸念があります。

4の使用上の便宜としましては、他教科と同じB5判で、児童の持ち帰りにかさばらず、机の上でもノートと同時に開いても邪魔になりません。

5の地域性の配慮としましては、千代田区や東京都に関連する資料は特にございませんでした。

6のその他は特にございませんでした。

以上でございます。後ほど実物をごらんになりまして、ぜひご確認のほうよろしくお願いいたします。

以上です。

勝又委員長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様は、特別の教科、道徳について見本をごらんになり、調査をお願いいたします。

統括指導主事

では、事務局のほうから見本本をご用意いたします。4セット準備してございます。

(調 査)

矢 野 委 員

各校の調査委員の先生方から、サイズに関しては何もリクエストとかコメント等は目立ったものは出ていなかったでしょうか。

齊藤副委員長

特にこれがだめとか、そういうものはなかったです。ただ、ここにあったように、大きいことで、中身はいいんだけど、やはり扱いづらさとか、そういうところは若干。いいという教員と、いや、ちょっとという教員と両方ともいたことは事実です。

矢 野 委 員

実際8社あるうち、光村さんだけは昔ながらのサイズ、光文さんと学研さんが大きいサイズで、あとの5社はこのサイズ、AB混在判なんです。こっちを主流にしてくるんだなということじゃないですか。つまり、今どきの出版社事情からすると、これ（光村）よりも情報量が入るんですよ、こちらのほうが。ただし、縦に大きくしてしまうと、今度はかさばるものが出てくるので。ということで、多分こっちが主流になってくるわけじゃないですか。そのあたりに対しては、別に先生方も抵抗もなく、特には……。

齊藤副委員長

そうですね。調査委員会の中では……

勝又委員長

なかったですね。なかったというか、そういう気づきがなかったかもしれない。

齊藤副委員長

でも、私もこれ、8社を見て、B5横が多かったのも、本当に……

矢 野 委 員

そうなんです。AB混在判なんです、これね。

齊藤副委員長

一番低学年でも扱いやすい大きさではありますね。

長 谷 委 員

今度、まだ副読本ですから、教室に置いておくということがあったんだけど、教科書ですから持ち帰りでしょう。そうすると、1年生なんかはどうなのかなというね。それともう1つ、別冊はどうだったんですかね、先生方の評価。

齊藤副委員長

別冊は総じて不評でした。結局、教員が見たら、やっていないところが出ちゃうと、やっていないじゃないかというふうになりかねないところ

ろと、時期のところもあったりとか、あと、特にここで言うと文教出版とか、もう本当に多過ぎて、ここまで書けないんじゃないかという、負担なんじゃないかという意見がありました。

矢野委員　また、あれですよ、まだ「心のノート」がどうなるかわからないんですよ。

齊藤副委員長　まだそれは……。

長谷委員　出ないでしょう。

矢野委員　出ないですかね。

長谷委員　「心のノート」はもう、「心のノート」じゃなく、今、「私たちの道徳」に変わりましたが、多分出ないという話は聞いています。ただ、来年かな、まだ持ち越しがありますよね、2年間にわたってやるので。もう1年は出るのかもわからないですけど、最終的には多分とまるんじゃないかという話ですね。

矢野委員　むしろそこの重複をちょっと気にしちゃったんですね、書き込み式と考えた場合に。別冊版が8社中3社でしたね。

齊藤副委員長　光文はたしかデータがあるんですよ、ワークシートの。それでいいんじゃないかという話がありました。

勝又委員長　それでは、今も少しお話をいただきましたけども、協議に入りたいと思います。ご質問、ご意見等ぜひ伝えていただきたいと思います。

統括指導主事　忌憚のないご意見、本の率直な感想とか、読みやすい、使いやすい等々、いろんな角度からご意見をいただければと思います。

矢野委員　もう1つ大きさとレイアウトに関して言いますと、実は東書さんだけは、この手の教科書は見開いた場合に、こちらが1ページ、奇数ページになるんです。こちらが偶数ページになるんですが、東書さんだけは奇数始まりの、これはもうたくさんあるんです。他社は結構そこは考えてくださっていて、全てが偶数ページ始まりにして、見開きから始めることができるということにしている会社が数社ある中で、東書さんだけはそこを全く意にせず、1学年当たり10作品ほどは奇数ページから始まっちゃうんです。例えばこれなんかもそうです。ぱっと見開いたときに。つまり、ここまで読んできていて、これも入っちゃうわけですね。というところで、そのあたり先生方の実際の使い勝手というところで、私はどうなんですかねというのが1つ思っていました。

もう1つレイアウトで言いますと、先ほど副委員長からお話があった、光文さんだけが縦書きの本文と、下に、先ほどあったように、ポイント、ポイントで先生が指示できる場所があるんですが、実はこれ、流れが、目線が縦と横なんです。実は昨今の例えば支援を考えるような子であったりですとか、そういう子にとっては、この目の追いは非常に苦しいんですね。ですから、ポイント、ポイントで、ここでというところはすごくいい合いの手だとは思いますが、その反面、この記載がかえって逆に、学力上あるいは集中力等々について何かしらある子に

対しては、もしかしたら何かしらちょっと支障もあるのかなと思ったんですが、それが逆に売りでもありますので、そのあたりも先生方が使い勝手としてどうかなと思ったのがもう1点。レイアウトに関してはその2つでした。

あとの光文さんと、それから光村さんに関しては、先ほどの偶数ページ始まり云々問題はあまりないです。光村さんが若干ありますけども、ほとんど。東書さんだけがお構いなく3分の1ぐらいは奇数始まりでやっちゃっているんですね。そこは気にしたところでした。

勝又委員長

確かに奇数始まりだとちょっと使いにくいかもしれない。長谷先生、今のご意見いかがでしょうか。

長谷委員

やっぱり右から始まるのが……

矢野委員

使いやすいですね。

長谷委員

使いやすい。これはもうわかり切っていることなんですけども。あと、活字が少し違うんですね、会社によって。多分、いろんなのに対応しているんだろうと思うので。そんなの先生たち気になさったかなという。ちょっと太目に出ているのと、細目に印刷されているのが。

矢野委員

それこそ光村さんなんかは国語っぽいので、細いんですね。いわゆる昔からの明朝体のような、教科書体で。同じ教科書体でもこういう、東京書籍さんのほうはやわらかい、今どきの明朝に近いですね。ふっくらとやわらかくしてある。最近の明朝ですね、これ。

長谷委員

それと、やっぱり気になったのは、別冊を先生方がどう判断するかなというのが。委員の名簿を見て、多分この先生たちならそれを選ぶだろうなと。

矢野委員

お顔が浮かぶ。さすがですね。

勝又委員長

別冊があると、きちっと書いていないと、保護者がそれを持ち帰って見たときに、やっていないんじゃないかというのがよく言われるんですね。

長谷委員

学習にならないんじゃないかというふうに思ったり。

それ以前に、うちの子ならなくしちゃうかもという心配が。

矢野委員

そうですね。

だから、やっぱり2冊あるというのは、子どもにとっては。そろっていないと先生に注意されるという、授業が始まる前のハードルがあるかなという気が。

長谷委員

でも、大体一般的に使われている資料が結構掲載されていますよね。「はしのうえのおおかみ」とか「かぼちゃのつる」とか、ああいうのは大体8社全部入っていますね。

齊藤副委員長

そうですね。

長谷委員

その辺をかなり意識したんだろうと思うんですね。やっぱり先生たちが選ぶときというのは、全部新品だったら多分選ばれない。今までの実績を考えると、そういうのも各回に。全部は入っていないですけど、例

えば高学年の「手品師」とか、ああいうのは効果があったというので多分入ってくる。逆に特色にならないんですよ。8社、入っちゃったですからね。

矢野委員

「手品師」が8分の5ですね。5社入っていますね。ただ、先ほど副委員長のほうからご指摘があったように、逆に、千代田区とか東京ならではという教材が、結局従来ですと、教科書が必ず巻末に各ご当地版のお話が2つ、3つ入っていたんですね。それが今回からありませんので、その分やっぱりさっきおっしゃっていた部分があるのは、ちょっとうれしいかなと。やっぱり子どもにとって身近なことが教材になり、それでまた考えていくということは、私はそれは先生方にとってもちっと扱いたいお話かなという気がして、推される理由もわかるような気がいたします。

長谷委員

これが全国に広がったんですものね。

齊藤副委員長

はい。本当に大変だったと聞いていますし、役所のほうも。

勝又委員長

音楽の教科書も、滝廉太郎のことも載っていて決まったような感じもありますので、これがどう考える、比重をつけるかということですかね。

では、様、何か一言。

やはり私も多くある中見ていて、千代田区のポイ捨てマナーのお話が出ていたというのは、千代田区に住む者としては非常にインパクトがありますし、まずうれしいというのと、その教科書にすごく内容に親近感を持てる感じがありましたので、やっぱりそこは大きなポイントかなというふうには感じます。

勝又委員長

様、一言。

僕はあんまり難しいことは言えないんですけども、普通に教科書ももらってばらばらめくったときに、視覚からどうしても入ってくることを考えると、光文さんのほうは結構カラフルで、やわらかいタッチのカラーとか絵があったりで、別冊のほうがあるなしに関係ないんですが、視覚的に一番入りやすいかなというイメージは持ちました。

勝又委員長

やっぱり見て、ぱっとう、読んでいたい、見ていたいということは大事ですものね。

そうですね。

勝又委員長

まず興味、関心を持たないと、授業が始まりませんから。字も大きいですしね。

矢野委員

逆に、今回の上位3社に関して、現場の調査委員の先生方からデメリットというか、ネガティブなコメント等は出ていますか。

勝又委員長

いろいろとあったんですけど、ここにも副委員長からあったように、よい面と悪い面が書いてありまして、悪い面のところは調査委員の人たちが言っていましたね。

矢野委員

それが差しさわって、特にそれがあからこそだめだというわけでは

勝又委員長

齊藤副委員長

矢野委員

勝又委員長

(「異議なし」の声あり)

勝又委員長

では、[REDACTED] 委員さん、お願いします。一言、全体を、取り組みを通して感じたことや。

あと、ぱっと見、うちの子どもにも見せたんですが、やはりこちらの

勝又委員長

勝又委員長

光村と、あと、学研の今風の絵柄というのが一番子どもの興味を引きました。ただ、実際、中のお話を読ませると、必ずしも表紙だけにとらわれるものでもないかなとは思いますが、やっぱり密度は高過ぎないほうがいいのかというふうに見ていて思いました。ですから、私はこの3社でちょっと安心したかなという感じです。

お子様にも協力していただいて、ありがとうございます。

恐れ入ります。

それが本当の現場の声ですね。では、 委員様、お願いします。

僕も全部読ませていただいた中で、この3社の中で特に光村さんは、1年生の本ですら既に文字が結構小さくて、絵の割には大分小さい文字から入っていくんだなという直感的に感想を持ちました。やっぱり光村さんの場合は、もう目次の段階からちょっとあんまりカラフルではなく、本当に国語の教科書のまみたいな感じのイメージがあって、ほかの2社に比べればまだちょっと読みづらさも、入る前からちょっと厳しいというか、見た目が読みづらいというイメージすら持ってしまうような感じがあって。

光文書院さんはすごくカラフルで親しみやすく、もちろん千代田区のポイ捨てもあったんですけども、私が感じた中では本当に読みやすかったです。文字の大きさもそうですし、絵の色の使い方もそうですし、取り扱っている伝記でもそうですし、人物も、内容もそうですけども、一番しっくり来るというイメージを僕は持っています。

東京書籍さんは結構補足が少なかったなという。やっぱり道徳の場合ですと、子どもたちに考えさせるという、考えてもらっておのこの独自の意見というのがあると思うんですけども、それを誘導するような補足の内容がちょっと少ないというイメージがありました。

以上です。

勝又委員長

矢野委員

ありがとうございました。それでは、矢野先生、お願いします。

私も一応送り届けいただきまして、拝見していただきました。どうしても仕事柄、専門性柄、こういったものをよく見ておりますので、本当に各社、今回、新教科ということで、特別の教科になるということで、どういう工夫をしてくるのかというところをすごく気にしていったんですけども、やはり問題は、これが従来ですと、先生方が、大体35ある読み物のうち、それを時期とかタイミングをうかがいながらチョイスして使える部分がよさであったと。ところが、今度は、教科書会社によっては、ある程度時期とか流れというものをきちんとつけられてしまっている。そこの教えづらさというのが、先生方がどうこれから気になさるのかなということも見ながら中も追っていったんですが、目次上ではそのあたりの展開とか系統性が出てくるわけではありませんし、まだ現時点ではそんなに各社の差はなかったと。

となったときに、今度、私は、さっき言ったレイアウトとか見やすさ

で考えていったんですけれども、そのときには、先ほどもお話ししたように、私もこの光村さんは、国語の業者としてはすごく信頼を置いていますし、とても尊重していますが、やっぱりその特色を出すんだなと。となったときに、やっぱりトータルの東京書籍さんかなという部分と、私もずっと目にしていたのは、千代田区の話が入っているやっぱり光文さんは目にとまっていたので、大体来るところが来たなというのが私の率直な意見でした。

あと、もう1つやっぱり、これからどうしても、この教科書の次がまた、マイナーチェンジですとか、また改訂されていくんでしょうが、考えさせるというところが、どういう形で各学習課題ですとか、まとめ方とか、いろんな仕掛けが出てくるのか。多分これからいろいろと差が出てくるんだろうなと思いながら、今回のこの8社の中では、これが多分有効であるなとか、こういう形ってすごくこれからリードしていくなというほどの差も感じませんでしたので、そうすると結局、私のほうも、気にしていた東書さん、光文さんが入ってきていて、まあ、順当なんだなと、そういう感想を持ちました。

以上です。

勝又委員長

ありがとうございました。それでは、最後に長谷先生、よろしく願います。

長谷委員

私が一番考えたのは、先生方の創造性というんでしょうかね。授業をしていく上での創造性ということ考えたときに、あまりいろんなものがあり過ぎたり、指示が多かったりすると、先生方は逆にやりにくいんだろうという。ただ、全国的に見ると、そういうほうがいいのかというのものもあるんですけれど。一応道徳にかかわっているような先生方からすると、これは使いにくいというのがあると思うんですね。それは、つまり、路線が引かれちゃっているということから考えると、この3社は割とそういう面では開いていますので。特に別冊がないというのがいいところだと思うんですけど。そういった、本当に先生方の指導性が、創造性というんでしょうか、そういうものが発揮できるかどうかという、この3つは、私はそれはオーケーだろうと。

それからもう1つは、これは始まってからになるかと思うんですけども、一応今もお話があったんですけど、1から35を順番に学校はやっていくのかということなんですね。それから、1から35を全てやるのかと。道徳の場合には、学習指導要領にも書かれているように、それこそ校長先生の方針のもとに、その学校の独自の計画を立てながらやっていくわけですから。ここにあるのは全て教科書会社の方針でつくられたものですね。それから、例えば高学年、22の内容項目がありますから、残りの13はダブるわけですね。もしくはトリプルのわけですね。それをどこに置いているか。それは多分、教科書会社が設定しているわけです、今。例えば教科書会社が生命尊重と公正・公平と信頼・友情は重く扱い

ましようとやってみた。ところが、学校によっては、それもそうなんだけど、うちの学校はちょっと規則の尊重とか、そっちにちょっと重点を置きたいんだという、それがない。そうすると、じゃあ、今度どうするのかという。解説なんかでは、道徳教育の特質に鑑みて、これまで使われた資料も有効に使いなさいというようなことを書いてありますので、全て教科書どおりにやっていくというのは、私は道徳教育の本来の姿から逆に言うとも離れていってしまうだろうと。これから校長先生をはじめとする学校側の年間指導計画の立て方というのがかかわってくるんじゃないかなというふうな思いを持ちました。この3社は、非常にそういう面では使いやすい。

それから、つけ足しですけども、光村というのはやっぱり国語の伝統のあるところなので、原文に忠実なんですね。だから、多分長くなっているんだろうと思うんですけども。例えば「かぼちゃのつる」の出だしというのは、「太陽が輝いています」というのが原文なんですね、しょっぱなが。これは全部8社載っているんですけども、「太陽がさんさんと輝いています」というのは2社か3社しかないんです。というのはどうということかという、これはわがままなんですよ。節度・節制なんですけども、「太陽がさんさんと輝いています」ということは、勝手にカボチャが伸びているんじゃないくて、成長の1つ。それがないと、カボチャが勝手につるを伸ばしているという、カボチャにとってはかわいそうなこともあるので。光村は、そういう面では多分原文に忠実になってきているんだろうと。ちょっと量が、「お日様がまぶしい朝です」という。だから、成長なんだという、成長の中でわがまましちゃっているんだという。ほかのは勝手なわがまになっているんですが、その辺の捉え方がちょっと違うのかな。これはちょっとつけ足しですけど。

以上です。

勝又委員長

ありがとうございました。私たちの目からうろこの言葉をいただきまして、本当にありがとうございました。

では、この委員会としては、光文、東京書籍、光村を推薦させていただきます。

では、以上をもちまして本日の議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

◎日程第3 事務連絡

- (1) 今後の予定等（調査資料様式3及び答申書の作成、答申について）
- (2) 教科書採択の公正確保等について

統括指導主事

それでは、今後の予定等についてお伝えいたします。

選定委員会は本日をもって終了いたします。事務局にて本日の議事

をまとめ、その後、選定委員長にご確認いただき、7月25日、教育委員会定例会にて、選定委員長または副委員長から答申いただきます。また、公務等により都合がつかない際には、事務局より代読させていただく場合がございます。

次に、連絡を2点いたします。

まず、本日お渡ししました資料につきましては、この後回収をさせていただきますので、机上に置かれてどうぞご退室ください。

また、前回の資料及び調査委員会の資料等お持ちの全てにつきまして、破棄していただきますようお願いいたします。本日もしお持ちのものがありましたら、ご退室の際にどうぞ机上に置いていただければ、事務局のほうで破棄をさせていただきます。

次に、教科書採択にかかわる事務手続については、採択決定までは非開示であり、決定以降、請求により教育委員会にて開示いたしますので、委員の皆様取材や問い合わせ等がありましたら、調査資料は既に破棄している、資料は教育委員会へお話しください等々、こちらのほうへご対応ください。さまざまお問い合わせがあることも考えられますので、この点どうぞよろしく願いいたします。

その他、何かご質問等ございますでしょうか。

それでは、本日もご審議いただきまして、大変にありがとうございました。以上をもちまして第2回教科用図書選定委員会を終了させていただきます。

以上で閉会とさせていただきます。ありがとうございました。